



なばり

2020年(令和2年) 1月10日発行

主な内容

- ①～③……多文化共生のまちづくり ようこそ名張へ♪
- ④……税の申告 ⑤……確定申告に関するお知らせ
- ⑧……ふれ愛・認め愛・支え愛～共生社会の実現を目指す講演会～

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

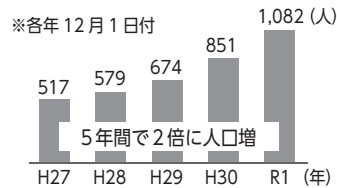


名張で進む国際化 多文化共生のまちづくり

ようこそ名張へ♪

～ Welcome to Nabari ♪ ～

市内の外国人住民数の推移



国籍別市内の外国人住民

①	フィリピン	214人
②	中国	213人
③	ベトナム	162人
④	韓国・朝鮮	130人
⑤	ブラジル	117人

※令和元年12月1日付
上位5カ国抜粋

※出典：住民基本台帳人口より

近年、海外からの技能実習生の増加などにより、全国で外国人住民が増えています。名張市の昨年12月1日時点での外国人住民数は1,082人。また、観光で日本を訪れる外国人も全国で急増しており、赤目四十八滝にも平成30年は2,904人の外国人が訪れました。今後、外国人と接する機会は更に増えていくことが予想される中、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め、理解しあい、共に生きていく「多文化共生」のまちづくりを進めていくことが求められます。 ☎ 人権・男女共同参画推進室 ☎ 63-7909

2ページ以降へ続く

新春

今年の一文字

市長と市議会議長が、今年の抱負などを漢字一文字で表しました

名張市長 亀井 利克

今年の一文字を「共」といたしました。本市では、市の総合計画「新理想郷プラン」において、「若いも若きも、男性も女性も、障害や難病の有無、外国人や一度過ちを犯した人などにかかわらず、全ての市民の社会参加がかなう互助共生のまち」を目指し、取組を進めてまいりました。

この本市の取組は、国内はもとより昨年はWHO(世界保健機関)が視察に訪れるなど、海外からも地域共生社会の先進都市として注目されております。これは、市民や団体の皆様とともに、オール名張で地域共生社会の実現に取り組んできた成果の表れであり、今後もこの取組をさらに深化・発展させてまいります。

名張市議会議長 富田 真由美



新時代が幕開けし、今年は日本でオリンピック・パラリンピックが開催されます。選手たちの一生懸命な姿は、輝いて見え、勇気と希望と感動を与えてくれることでしょう。

私たちが仕事、家庭、学校と日々の生活の中で、一生懸命に取り組む姿はきつと輝いています。他人と比べるのではなく、それぞれの個性を生かしながら自分らしく「輝く」そんな人が大勢住んでいる名張のまちを目指したいと思い、今年の一文字を「輝」としました。